

学科・専攻名		健康栄養学科 管理栄養士専攻		到達目標に対応する授業科目			1年		2年		3年		4年										
育成する人材像		到達目標1（綱）	到達目標2（細）	科目区分1	科目区分2	科目区分3	授業科目		春		秋		春		秋								
育成する人材像		到達目標1（綱）	到達目標2（細）	科目区分1	科目区分2	科目区分3	科目名	選択必修区分	授業方法/単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数						
1. 複雑で変化の激しい現代社会において、個人の充実した人生と社会の持続的発展を実現するために、自ら考え、他者との協働によって、健康・栄養にかかわる課題を解決に導くこれからの必要とされる現代的行動力を身につけた人。	管理栄養士の活動領域について理解する。また、以下の学科専攻科目を学ぶための基礎を理解している。	管理栄養士の活動領域について理解している。	大学生としての学びの姿勢、基礎的な知識、技術が身につけている。	学士課程基幹教育科目			アカデミックスキルズA	必	B1	アカデミックスキルズA	1												
				学士課程基幹教育科目			アカデミックスキルズB	必	B1		アカデミックスキルズB	1											
				学科専攻科目	学科基礎科目	化学	必	A2	化学	2													
				学科専攻科目	学科基礎科目	生物学	必	A2	生物学	2													
2. 行政、教育現場、給食施設、企業など幅広い分野で、人間栄養学に関する高度な専門知識を活用し実践できる人。	社会・環境と健康：人間や生活についての理解を深めるとともに、社会や環境が人間の健康をどう規定し左右するか、あるいは人間の健康を保持増進するための社会や環境はどうあるべきかなど社会や環境と健康の関わりについて理解している。	公衆衛生の歴史や人口保健統計、疫学、環境と健康、生活習慣の現状と対策について理解している。	社会・環境と健康	学科専攻科目	専門基礎分野	社会・環境と健康	社会・環境と健康A	必	管	A2				社会・環境と健康A	2								
				学科専攻科目	専門基礎分野	社会・環境と健康	社会・環境と健康B	管	A2					社会・環境と健康B	2								
				学科専攻科目	専門基礎分野	社会・環境と健康	社会・環境と健康C	必	管	A2						社会・環境と健康C	2						
				学科専攻科目	専門基礎分野	社会・環境と健康																	
3. 医療や福祉などの現場で、個人の栄養状態を的確に把握、評価し、その結果をもとに適切な栄養管理・栄養教育ができる、人間栄養学に関する高度な専門知識を持つ管理栄養士。	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち、人体の構造と機能を系統的に理解している。また、主要疾患の成因、病態、診断、治療を理解している。	正常な人体の仕組みについて、個体とその機能を構成する遺伝子レベル、細胞レベルから組織・器官レベルまでの構造と機能を理解している。	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	学科専攻科目	専門基礎分野	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	解剖生理学A	必	管	A2		解剖生理学A	2										
				学科専攻科目	専門基礎分野	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	解剖生理学B	管	A2				解剖生理学B	2									
				学科専攻科目	専門基礎分野	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	解剖生理学実験A	管	C1				解剖生理学実験A	1									
				学科専攻科目	専門基礎分野	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	解剖生理学実験B	管	C1						解剖生理学実験B	1							
				学科専攻科目	専門基礎分野	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	臨床病態学総論	必	管	A2					臨床病態学総論	2							
				学科専攻科目	専門基礎分野	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	臨床病態学各論	管	A2						臨床病態学各論	2							
				学科専攻科目	専門基礎分野	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	微生物学	必	管	A2				微生物学	2								
				学科専攻科目	専門基礎分野	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	薬と食	必	管	A2							薬と食	2					
				学科専攻科目	専門基礎分野	食べ物と健康	調理と食事設計	必	管	A2		調理と食事設計	2										
				学科専攻科目	専門基礎分野	食べ物と健康	基礎調理実習	必	管	C1			基礎調理実習	1									
				学科専攻科目	専門基礎分野	食べ物と健康	食事設計実習	必	管	C1				食事設計実習	1								
				基礎栄養：健康の保持・増進、疾病の予防・治療における栄養の役割を理解し、エネルギー、栄養素の代謝とその生理的意義を理解している。	健康の保持・増進、疾病の予防・治療における栄養の役割を理解している。	健康の保持・増進、疾病の予防・治療における栄養の役割を理解している。	基礎栄養学	学科専攻科目	専門分野	基礎栄養学	基礎栄養学	必	管	A2	基礎栄養学	2							
学科専攻科目	専門分野	基礎栄養学	基礎栄養学実験					必	管	C1	基礎栄養学実験	1											
学科専攻科目	専門基礎分野	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	生化学A					必	管	A2		生化学A	2										
学科専攻科目	専門基礎分野	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	生化学B					管	A2			生化学B	2										
学科専攻科目	専門基礎分野	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	生化学実験					管	C1				生化学実験	1									
応用栄養：対象者の身体状況や栄養状態に応じた基本的な栄養管理の考え方・方法を理解している。また、食生活や運動を通じた健康の保持・増進のための運動効果と食生活支援の理論と方法を理解している。	栄養マネジメントの基本的な考え方、および具体的な栄養アセスメント方法を理解している。食事摂取基準の基礎的内容を理解している。	栄養マネジメントの基本的な考え方、および具体的な栄養アセスメント方法を理解している。食事摂取基準の基礎的内容を理解している。	応用栄養学					学科専攻科目	専門分野	応用栄養学	栄養マネジメント論	必	管	A2	栄養マネジメント論	2							
								学科専攻科目	専門分野	応用栄養学	栄養マネジメント実習	必	管	C1		栄養マネジメント実習	1						
								学科専攻科目	専門分野	応用栄養学	応用栄養学A	必	管	A2			応用栄養学A	2					
								学科専攻科目	専門分野	応用栄養学	応用栄養学B	必	管	A2				応用栄養学B	2				
								学科専攻科目	専門分野	応用栄養学	応用栄養学実習	必	管	C1				応用栄養学実習	1				
								学科専攻科目	専門分野	応用栄養学	運動栄養学	必	管	A2				運動栄養学	2				
学科専攻科目	専門分野	応用栄養学	運動栄養学実習					必	管	C1					運動栄養学実習	1							

学科・専攻名		健康栄養学科 管理栄養士専攻																					
育成する人材像・到達目標		到達目標に対応する授業科目					1年		2年		3年		4年										
育成する人材像	到達目標1（綱）	到達目標2（細）	科目区分1	科目区分2	科目区分3	授業科目			春		秋		春		秋		春		秋				
						科目名	選択必修区分	授業方法/単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名
		学校教育現場における給食管理及び食に関する指導の具体的な内容を理解し実践する力を修得している。 栄養教諭としての使命感や責任感、社会性、児童・生徒を理解する能力、食に関する指導力を修得している。	学科専攻科目	教職関連科目	栄養教諭	学校食教育概論	《栄教》	A2					学校食教育概論	2									
			学科専攻科目	教職関連科目	栄養教諭	学校食教育実践論	《栄教》	A2										学校食教育実践論	2				
			教職に関する科目		栄養教諭	生徒指導の理論・方法	《栄教》	A2					生徒指導の理論・方法	2									
			教職に関する科目		栄養教諭	栄養教育実習（事前事後の指導1単位を含む）	《栄教》	C2											栄養教育実習（事前事後の指導1単位を含む）	2			
			教職に関する科目		栄養教諭	教職実践演習（栄養教諭）	《栄教》	B2												教職実践演習（栄養教諭）	2		
									13		11		31		23		23		20		10		16

学科・専攻名		健康栄養学科 食物栄養専攻		到達目標に対応する授業科目			1年		2年		3年		4年				
育成する人材像・到達目標				到達目標に対応する授業科目			春		秋		春		秋				
育成する人材像	到達目標1(細)	到達目標2(細)	科目区分1	科目区分2	科目区分3	授業科目		科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数		
						科目名	単位数									科目名	単位数
育成する人材像	到達目標1(細)	到達目標2(細)	科目区分1	科目区分2	科目区分3	給食経営管理論	必	A2					給食経営管理論	2			
						給食経営管理実習A(学内)	栄	C1					給食経営管理実習A(学内)	1			
育成する人材像	到達目標1(細)	到達目標2(細)	科目区分1	科目区分2	科目区分3	給食経営管理実習B(学外)(事前事後指導を含む)	栄	C1							給食経営管理実習B(学外)(事前事後指導を含む)	1	
						実践栄養管理研究		D2					実践栄養管理研究	D2			
育成する人材像	到達目標1(細)	到達目標2(細)	科目区分1	科目区分2	科目区分3	健康栄養研究	必	D2					健康栄養研究		健康栄養研究	2	
						ゼミ		B2							演習I	2	
育成する人材像	到達目標1(細)	到達目標2(細)	科目区分1	科目区分2	科目区分3	演習I	必	B2								演習II	2
						演習II	必	B2								卒業論文	卒業論文
育成する人材像	到達目標1(細)	到達目標2(細)	科目区分1	科目区分2	科目区分3	卒業論文	必	6									
						卒業論文	必	6									
育成する人材像	到達目標1(細)	到達目標2(細)	科目区分1	科目区分2	科目区分3	フードスペシャリスト論	フ	A2				フードスペシャリスト論	2				
						フードコーディネート論	フ	B1				フードコーディネート論	1				
育成する人材像	到達目標1(細)	到達目標2(細)	科目区分1	科目区分2	科目区分3	フードコーディネートA	フ	B1						フードコーディネートA	1		
						フードコーディネートB	フ	B1					フードコーディネートB	1			
育成する人材像	到達目標1(細)	到達目標2(細)	科目区分1	科目区分2	科目区分3	教職共通	教	A2			教職共通	2					
						教育原理	教	A2			教育原理	2					
育成する人材像	到達目標1(細)	到達目標2(細)	科目区分1	科目区分2	科目区分3	教育心理学	教	A2				教育心理学	2				
						教育社会学	教	A2			教育社会学	2					
育成する人材像	到達目標1(細)	到達目標2(細)	科目区分1	科目区分2	科目区分3	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む)	教	A2					教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む)	2			
						教育相談論	教	A2					教育相談論	2			
育成する人材像	到達目標1(細)	到達目標2(細)	科目区分1	科目区分2	科目区分3	教育課程論	教	A2						教育課程論	2		
						道徳の理論及び指導法	教	A2					道徳の理論及び指導法	2			
育成する人材像	到達目標1(細)	到達目標2(細)	科目区分1	科目区分2	科目区分3	人権・同和教育の研究	教	A2				人権・同和教育の研究	2				
						特別支援教育	教	A2				特別支援教育	2				
育成する人材像	到達目標1(細)	到達目標2(細)	科目区分1	科目区分2	科目区分3	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	教	A2					特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2			
						学校食教育概論	《栄教》	A2			学校食教育概論	2					
育成する人材像	到達目標1(細)	到達目標2(細)	科目区分1	科目区分2	科目区分3	学校食教育実践論	《栄教》	A2						学校食教育実践論	2		
						生徒指導の理論・方法	《栄教》	A2			生徒指導の理論・方法	2					
育成する人材像	到達目標1(細)	到達目標2(細)	科目区分1	科目区分2	科目区分3	栄養教育実習(事前事後の指導1単位を含む)	《栄教》	C2						栄養教育実習(事前事後の指導1単位を含む)	2		
						教職実践演習(《栄教》)	《栄教》	B2							教職実践演習(《栄教》)	2	
育成する人材像	到達目標1(細)	到達目標2(細)	科目区分1	科目区分2	科目区分3	《家庭》家庭経営学(《家庭》家族関係学及び《家庭》家庭経済学を含む。)	《家庭》	A2					《家庭》家庭経営学(《家庭》家族関係学及び《家庭》家庭経済学を含む。)	2			
						住居学(製図を含む。)	《家庭》	A2			住居学(製図を含む。)	2					
育成する人材像	到達目標1(細)	到達目標2(細)	科目区分1	科目区分2	科目区分3	被服学	《家庭》	A2					被服学	2			
						〔被服構成学実習〕	《家庭》	C1						〔被服構成学実習〕	1		
育成する人材像	到達目標1(細)	到達目標2(細)	科目区分1	科目区分2	科目区分3	保育学(《家庭》家庭看護を含む。)	《家庭》	A2					保育学(《家庭》家庭看護を含む。)	2			
						小児保健学実習	《家庭》	C1					小児保健学実習	1			
育成する人材像	到達目標1(細)	到達目標2(細)	科目区分1	科目区分2	科目区分3	生徒・進路指導論	《家庭》	A2						生徒・進路指導論	2		
						《家庭》家庭科教科教育法A	《家庭》	A2			《家庭》家庭科教科教育法A	2					
育成する人材像	到達目標1(細)	到達目標2(細)	科目区分1	科目区分2	科目区分3	《家庭》家庭科教科教育法B	《家庭》	A2				《家庭》家庭科教科教育法B	2				
						《家庭》家庭科教科教育法C	《家庭》	A2				《家庭》家庭科教科教育法C	2				
育成する人材像	到達目標1(細)	到達目標2(細)	科目区分1	科目区分2	科目区分3	《家庭》家庭科教科教育法D	《家庭》	A2					《家庭》家庭科教科教育法D	2			
						教育実習指導	《家庭》	A1					教育実習指導	1			
育成する人材像	到達目標1(細)	到達目標2(細)	科目区分1	科目区分2	科目区分3	教育実習	《家庭》	C4						教育実習	4		
						教職実践演習	《家庭》	B2							教職実践演習	2	
育成する人材像	到達目標1(細)	到達目標2(細)	科目区分1	科目区分2	科目区分3	介護等の体験の事前指導	《家庭》	A1					介護等の体験の事前指導	1			
						介護等の体験	《家庭》	C1					介護等の体験	1			
									13	11	24	30	23	21	9	14	